厚生労働大臣の定める掲示事項

令和 7 年 8 月 1 日現在

1. 当院は、厚生労働大臣の定める基準に基づいて診療を行っている保険医療機関です。

2. 入院基本料について

当院は、急性期一般入院料（日勤、夜勤あわせて）入院患者 7 人に対し 1 人以上の看護職員を配置しております。なお、病棟、時間帯、休日などで看護職員の配置が異なります。

また、入院患者 25 人に対して 1 人以上の看護補助者を配置しております。

3. 入院診療計画、院内感染防止対策、医療安全管理体制、褥瘡対策及び栄養管理体制について

当院では、入院の際に医師を初めとする関係職員が共同して、患者さんに関する診療計画を策定し、7 日以内に文書によりお渡ししております。また、厚生労働大臣が定める院内感染防止対策、医療安全管理体制、褥瘡対策及び栄養管理体制の基準を満たしております。

4. DPC対象病院について

当院は、入院医療費の算定にあたり、包括評価と出来高評価を組み合わせる『DPC対象病院』となっております。

※医療機関別係数

≪ 基礎係数 + 機能評価係数Ⅰ + 機能評価係数Ⅱ + 救急補正係数 ≫

5. 明細書発行体制について

医療の透明化や患者さんへの情報提供を推進していく観点から、領収書の発行の際に、個別の診療報酬の算定項目の判る明細書を無料で発行しております。また、公費負担医療の受給者で医療費の自己負担の無い方についても、明細書を無料で発行しております。

明細書には、使用した医薬品の名称や行われた検査の名称が記載されるもので、その点をご理解いただき、ご家族が代理で会計を行う場合のその代理の方への発行を含めて、明細書の発行を希望されない方は、会計窓口にてその旨お申し出ください。

6. 当院は、九州厚生局に下記の届出を行っております。

1) 入院時食事療養費（I）を算定すべき食事療養の基準に係る届出をおこなっております。

当院は、入院時食事療養費に関する特別管理により食事の提供を行っております。療養のための食事は、管理栄養士の管理の下に適時（夕食については18時以降）適温で提供しております。

2) 基本診療料の施設基準等に係る届出

情報通信機器を用いた診療に係る基準

医療DX推進体制整備加算

一般病棟入院基本料

精神病棟入院基本料

救急医療管理加算

診療録管理体制加算1

医師事務作業補助体制加算1

急性期看護補助体制加算

看護職員夜間配置加算

看護補助加算

療養環境加算

重症者等療養環境特別加算

無菌治療室管理加算1

放射線治療病室管理加算（治療用放射性同位元素による場合）

緩和ケア診療加算

精神科身体合併症管理加算

精神科リエゾンチーム加算

摂食障害入院医療管理加算

栄養サポートチーム加算・・・栄養サポートチームによる診療が行われております。

医療安全対策加算1

感染対策向上加算1

患者サポート体制充実加算

褥瘡ハイリスク患者ケア加算

ハイリスク妊娠管理加算

ハイリスク分娩管理加算・・・年間分娩件数 344件

精神科救急搬送患者地域連携受入加算

後発医薬品使用体制加算2

データ提出加算

入退院支援加算

認知症ケア加算

せん妄ハイリスク患者ケア加算

精神疾患診療体制加算

精神科急性期医師配置加算

排尿自立支援加算
地域医療体制確保加算
ハイケアユニット入院医療管理料 1
新生児特定集中治療室管理料 2
地域包括ケア病棟入院料 2 及び地域包括ケア入院医療管理料 2
入院時食事療養／生活療養（Ⅰ）

3) 特掲診療料の施設基準等に係る届出

心臓ペースメーカー指導管理料の注 5 に規定する遠隔モニタリング加算
糖尿病合併症管理料
がん性疼痛緩和指導管理料
がん患者指導管理料イ
がん患者指導管理料ロ
がん患者指導管理料ハ
外来緩和ケア管理料
糖尿病透析予防指導管理料
乳腺炎重症化予防ケア・指導料
婦人科特定疾患治療管理料
腎代替療法指導管理料
一般不妊治療管理料
生殖補助医療管理料 1
二次性骨折予防継続管理料 1
二次性骨折予防継続管理料 2
二次性骨折予防継続管理料 3
下肢創傷処置管理料
夜間休日救急搬送医学管理料の注 3 に規定する救急搬送看護体制加算
外来腫瘍化学療法診療料 1
ニコチン依存症管理料
開放型病院共同指導料
ハイリスク妊産婦共同管理料（Ⅰ）・・・ハイリスク妊娠管理、分娩管理を共同で行う医療機関
宮崎大学医学部附属病院、宮崎市郡医師会病院、宮崎県立宮崎病院、都城医療センター
がん治療連携指導料
外来排尿自立指導料
ハイリスク妊産婦連携指導料 1
ハイリスク妊産婦連携指導料 2
肝炎インターフェロン治療計画料
薬剤管理指導料
医療機器安全管理料 1
医療機器安全管理料 2
在宅患者訪問看護・指導料及び同一建物居住者訪問看護・指導料の注 2
持続血糖測定器加算（間歇注入シリンジポンプと連動する持続血糖測定器を用いる場合）及び皮下連続式グルコ

ース測定

持続血糖測定器加算（間歇注入シリンジポンプと連動しない持続血糖測定器を用いる場合）

骨髄微小残存病変量測定

BRCA1／2遺伝子検査

HPV核酸検出及びHPV核酸検出（簡易ジェノタイプ判定）

検体検査管理加算（Ⅳ）

ヘッドアップティルト試験

CT透視下気管支鏡検査加算

画像診断管理加算2

CT撮影及びMRI撮影

冠動脈CT撮影加算

心臓MRI撮影加算

抗悪性腫瘍剤処方管理加算

外来化学療法加算1

無菌製剤処理料

脳血管疾患等リハビリテーション料（Ⅰ）

運動器リハビリテーション料（Ⅰ）

呼吸器リハビリテーション料（Ⅰ）

がん患者リハビリテーション料

精神科作業療法

抗精神病特定薬剤治療指導管理料（治療抵抗性統合失調症治療指導管理料に限る。）

医療保護入院等診療料

静脈圧処置（慢性静脈不全に対するもの）

エタノールの局所注入（甲状腺）

エタノールの局所注入（副甲状腺）

人工腎臓

導入期加算1

透析液水質確保加算及び慢性維持透析濾過加算

難治性高コレステロール血症に伴う重度尿蛋白を呈する糖尿病性腎症に対するLDLアフェレシス療法

ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術

ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術（リードレスペースメーカー）

大動脈バルーンパンピング法（IABP法）

腹腔鏡下リンパ節群郭清術（側方）

腹腔鏡下小切開骨盤内リンパ節群郭清術、腹腔鏡下小切開後腹膜リンパ節群郭清術、腹腔鏡下小切開後腹膜腫瘍摘出術、等

腹腔鏡下十二指腸局所切除術（内視鏡処置を併施するもの）

腹腔鏡下胃切除術（単純切除術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合））及び腹腔鏡下胃切除術（悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いるもの））

腹腔鏡下噴門側胃切除術（単純切除術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合））及び腹腔鏡下噴門側胃切除術（悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いるもの））

腹腔鏡下胃全摘術（単純全摘術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合））及び腹腔鏡下胃全摘術（悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いるもの））

腹腔鏡下胆嚢悪性腫瘍手術（胆嚢床切除を伴うもの）
胆管悪性腫瘍手術（膵頭十二指腸切除及び肝切除（葉以上）を伴うものに限る。）
体外衝撃波胆石破砕術
腹腔鏡下肝切除術
腹腔鏡下肝切除術（部分切除及び外側区域切除）
腹腔鏡下肝切除術（亜区域切除、1区域切除（外側区域切除を除く。）、2区域切除及び3区域切除以上のもの）
腹腔鏡下膵腫瘍摘出術
腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術
早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術
腹腔鏡下結腸悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
腹腔鏡下直腸切除・切断術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
体外衝撃波腎・尿管結石破砕術
膀胱水圧拡張術及びハンナ型間質性膀胱炎手術（経尿道）
腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術
腹腔鏡下小切開膀胱悪性腫瘍手術
精巣内精子採取術
腹腔鏡下仙骨腔固定術
医科点数表第2章第10部手術の通則の16に掲げる手術
輸血管理料Ⅰ
輸血適正使用加算
人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算
胃瘻造設時嚥下機能評価加算
麻酔管理料（Ⅰ）
麻酔管理料（Ⅱ）
放射線治療専任加算
外来放射線治療加算
高エネルギー放射線治療
一回線量増加加算
画像誘導放射線治療（IGRT）
体外照射呼吸性移動対策加算
定位放射線治療
定位放射線治療呼吸性移動対策加算
保険医療機関間の連携による病理診断
病理診断管理加算1
悪性腫瘍病理組織標本加算
看護職員処遇改善評価料52
外来・在宅ベースアップ評価料（Ⅰ）
入院ベースアップ評価料53
酸素の購入単価

7. 保険外負担に関する事項について

当院では、個室使用料、証明書・診断書などにつきまして、その利用日数に応じた実費のご負担をお願いしております。

1) 特別療養環境の提供

区 分	費用徴収を行わない病床数	費用徴収を行うこととしている病床		
		計	内 訳	金 額
個 室	20床	71床	4床（ストレスケア2階2床・ストレスケア3階2床）	3,300円
			19床（2階6床・3階5床・4階5床・5階3床）	4,400円
			7床（3階東3床・4階南4床）	5,500円
			37床（2階8床・3階8床・3階東12床・4階5床・5階4床）	7,700円
			1床（3階特別室）	16,500円
			3床（3階東特別室・4階南特別室・5階特別室）	22,000円
2人室	28床	4床	4床（ストレスケア2階206・207）	1,100円
3人室	39床	0床		
4人室	132床	0床		
5人室	50床	0床		
6人室	18床	0床		
合 計		①	75床	

②全病床数	362床
費用徴収病床割合(①÷②)	20.7%

2) 診断書・証明書及び保険外負担に係る費用

健康保険法	文 書 名	金額（税込）
	療養費支給申請書	無料
	看護料 移送費支給申請書	無料
	出産育児一時金・出産手当金証明書・意見書	無料
	埋葬費支給申請書	無料

診 断 書 等	一般診断書（院内用）	1,100 円
	診断書（書類持参）【保険給付以外】	1,100 円
	生命保険・簡易保険診断書（入院証明書）	4,400 円
	生命保険・簡易保険診断書（死亡診断書）	4,400 円
	診断書（複写）【押印が必要なもの】	4,400 円
	健康診断診断書（院内）	1,100 円
	病 歴 書	3,300 円
	出 生 届	2,200 円
	出産・死産証明書	2,200 円
	死亡診断書（院内用）【保険給付以外】	2,200 円
	就労可否見込等の意見書・通院証明書	1,100 円
	各種共済付加金の請求書（見舞金等）	3,300 円
	休復職用診断書	2,200 円
	年金用診断書	5,500 円
恩給用診断書	5,500 円	
面 談	保険関係面談料	5,500 円
	保険関係回答書	4,400 円
証 明 書	支払い証明書	550 円
公 費 申 請	身体障害者手帳交付申請用診断書（複雑なもの）	5,500 円
	特定疾患臨床調査個人票（診断書）	3,300 円
	特定疾患重症度認定審査用診断書	1,100 円
	障害者自立支援申請用診断書	3,300 円
	障害者自立支援申請用診断書（手帳用）	4,400 円
自 賠 他	自動車損害賠償責任保険後遺障害意見書	3,300 円
	障害（補償）給付支給請求書（様式第 10 号）	4,400 円

3) 初診・再診も係る費用の徴収

他の保険医療機関からの紹介によらず、当院に直接来院した場合については初診に係る費用として7,000円を徴収することになります。ただし、緊急その他やむを得ない事情により、他の保険医療機関等からの紹介によらず来院した場合は、この限りではありません。

また、再診患者さんの中で病状が安定し、診療所への紹介を受けた患者さんが、かかりつけ医の紹介無しに再受診された場合、あるいは「かかりつけ医」への紹介を当院より申し出たが引き続き当院にて診察を希望された場合（紹介状交付の有無に関わらず）につきましては、再診料のほかに保険外併用療養費として3,000円を徴収することになります。

この費用は、病院と診療所の機能分担を推進する観点から、自己の選択に係るものとして、初診料を算定する初診に相当する療養部分についてその費用を徴収することが出来ると定められたもので、特定機能病院及び200床以上の地域医療支援病院に義務付けられております。

8. 厚生労働省が定める手術《医科点数表第2章第10部手術通則第5号及び第6号に掲げる手術》の施設基準に係る実績について（令和6年1月～12月）

区分1	ウ	鼓室形成手術等	2	例
区分1	エ	肺悪性腫瘍手術等	1	例
区分2	ウ	鼻副鼻腔悪性腫瘍手術等	0	例
区分2	エ	尿道形成手術等	14	例
区分2	カ	肝切除術等	46	例
区分2	キ	子宮付属器悪性腫瘍手術等	7	例
区分3	ア	上顎骨形成術等	0	例
区分3	イ	上顎骨悪性腫瘍手術等	0	例
区分3	ウ	バセドウ甲状腺全摘（亜全摘）術（両葉）	43	例
区分3	オ	内反足手術等	0	例
区分3	カ	食道切除再建術等	1	例
区分4に分類される手術 （胸腔鏡及び腹腔鏡によるもの）			682	例
その他の区分	ア	人工関節置換術及び人工股関節置換術	0	例
その他の区分	ウ	ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術	19	例
その他の区分	エ	冠動脈、大動脈バイパス移植術（人工心肺を使用しないものを含む。）及び体外循環を要する手術	0	例
その他の区分	オ	経皮的冠動脈形成術、経皮的冠動脈粥腫切除術及び経皮的冠動脈ステント留置術	52	例

9. 後発医薬品（ジェネリック医薬品）について

当院では、後発医薬品（ジェネリック医薬品）を積極的に採用しております。また、医薬品の供給不足等が発生した場合に、治療計画等の見直し等、適切な対応ができる体制を整備しております。状況によっては、患者さんへ投与する薬剤が変更となる可能性がございます。

ご不明な点がございましたら、主治医又は薬剤師にお尋ねください。

10. 禁煙外来（ニコチン依存症管理料）に係る院内掲示

当院はニコチン依存症管理料の届出を行っており、禁煙の為の治療的サポートをする禁煙外来を行っています。

11. 外来腫瘍化学療法診療料に係る院内掲示

当院では、本診療料を算定している患者から電話等による緊急の相談等に 24 時間対応できる連絡体制を設けています。

急変時等の緊急時には、各専門領域との迅速な連携によるチーム医療での対応を行っており、実施される化学療法のレジメン（治療内容）の妥当性についても委員会で評価、承認を実施しています。

12. 入退院支援（入退院支援加算、入院時支援加算）に係る院内掲示

当院では、患者さんが安心・納得して退院し、早期に住み慣れた地域で療養や生活を継続できるように、施設間の連携を推進し退院のご支援を実施しております。

詳細については、各病棟に詳細を掲示しておりますのでご参照ください。

13. 患者さんの相談窓口（患者サポート体制充実加算）に係る院内掲示

当院では、患者さんからのあらゆる相談に幅広く対応するための医療相談窓口を設置しています。看護師、医療ソーシャルワーカーがお話をおうかがいし、院内の各部署や院外の医療・介護関係者と連絡を取り合い、問題解決に向けて対応させていただきます。ご相談は、患者さん、ご家族等どなたでも可能です。また相談されたことにより不利益を受ける事はなく、プライバシーの保護を遵守します。相談は無料です。

14. 緩和ケア診療加算、外来緩和ケア管理料について

当院は、緩和ケア診療を行うにつき十分な体制を整えており、緩和ケアの研修を受けた医師を配置しております。医師、看護師、薬剤師からなる緩和ケアチームによる診療を行っております。また、当院は、公益財団法人日本医療機能評価機構が行う医療機能評価を受けている病院です。

15. 医師事務作業補助体制加算について

当院では、病院勤務医の負担の軽減及び処遇の改善として、医師事務作業補助者の外来／病棟診療補助や他職種との業務分担に取り組んでいます。

16. 急性期看護補助体制加算について

当院では、看護職員の負担の軽減及び処遇の改善として、看護職員と他職種との業務分担、看護補助者の配置、短時間正規雇用の看護職員の活用、妊娠・子育て中・介護中の看護職員に対する配慮、夜勤負担の軽減等に取り組んでいます。

17. 病院職員等の負担の軽減及び処遇の改善に関する事項

当院では、下記項目を含めた病院職員等の負担の軽減及び処遇の改善に向けたさまざまな取り組みを実施しております。

- ・ 外来縮小の取り組み
- ・ 医師と医療関係職種における役割分担に対する取り組み
- ・ 医療関係職種と事務職員等における役割分担に対する取り組み
- ・ 医師の負担軽減に対する取り組み
- ・ 看護職員の負担軽減に関する取り組み

18. その他

・ 当院では、安全な医療を提供するために、医療安全管理者等が医療安全管理委員会と連携し、より実効性のある医療安全対策の実施や職員研修を計画的に実施しています。

・ 当院では、感染制御のチームを設置し、院内感染状況の把握、抗菌薬の適正使用、職員の感染防止等をおこない、院内感染対策を目的とした職員の研修を行っています。また、院内だけにとどまらず、地域の高齢者施設や病院の感染防止対策の知識の向上のための活動を行っています。

・ 当院は、個人の権利・利益を保護するために、個人情報適切に管理することを社会的責任と考えます。個人情報保護に関する方針を定め、職員及び関係者に周知徹底を図り、これまで以上に個人情報保護に努めます。

・ 当院では、患者さんが安心・納得して退院し、早期に住み慣れた地域で療養や生活を継続できるように、施設間の連携を推進し退院のご支援を実施しております。

・ 当院では、屋内外を問わず、「病院敷地内全面禁煙」となっておりますのでご理解とご協力をお願いします。

・ 当院は、厚生労働省指定の臨床研修病院です。指導医の指導・監督のもと、初期研修医が外来・病棟等で診療を行っております。また、看護師や薬剤師など様々な職種の実習生を受け入れている施設でもあります。日本の未来を担う医療職を養成するために、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。